

35歳までにしておきたいこと

11. 1年でも早く
婚活する
「結婚せず仕事に命懸ける」という覚悟があるなら別ですが、少しでも速うなら今すぐ婚活を。35歳を過ぎて結婚しようと決めた私は苦労しました」

12. 倒れるまで
働いてみる
「体力のあるうちに、一度無我夢中になって働いてみる。死ぬほど働いた！という経験があれば仕事も人生も、たいていの壁は乗り越えられます」

「将来子供が欲しいと思うなら即ノパートナーを探すべし!!」

「20代のころから起業を目標に休みなく働いてきました。でも35歳でこんな働き方は長くは続けられない」と気づき、ワーキングマザーが活躍できる会社をつくらうと一念発起。その後、私は39歳で結婚、41歳で出産できましたが、40歳を過ぎてからの出産がどれほど難しいかを思い知りました。子供はいつでもできるわけではありません。出産を考えているなら今すぐパートナーを探して」



岩崎さん'sやっておいてよかった!

毎日夜中まで働き続けたこと
「営業をしていた30代半ばまでは、疲れて肌がボロボロ。40代と間違われるほどでした。でも、このときの激務と肌に優しい化粧品を開発したいという思いが、結婚と出産後も女性がイキイキと働ける会社づくりの原動力に」



私がアラサーだったころは...
広告代理店の取締役営業本部長として仕事に没頭

PROFILE 短大卒業後、JTBに就職。23歳で広告会社へ転職。37歳のとき将来起業するため20代から貯めていた1000万円を資金に、通販化粧品会社「ランクアップ」を設立。ワーキングマザーも多く在籍し、ほぼ全社員が「残業0」なのに売り上げが伸び続ける会社、として評判に。

「マナラ化粧品」開発・販売会社 ランクアップ 代表取締役
岩崎裕美子さん(47歳)

35歳までにしておきたいこと

13. お金は毎月先取りで貯蓄しておく
「結婚や出産で本格的な家計管理が必要になる前に、貯まる仕組みをつくるのが重要。銀行の自動積立定期預金を利用し、給料の2割を貯蓄して」

14. 親や友人などのサポートネットワーク
「実は私は出産前の34歳から両親との同居を開始。仕事と育児の両立には親の助けが必須だと見越していたことでした。数年後に出産し、正解だったと実感」

「実は私は出産前の34歳から両親との同居を開始。仕事と育児の両立には親の助けが必須だと見越していたことでした。数年後に出産し、正解だったと実感」

高山さん'sやっておいてよかった!

毎月コツコツ貯蓄を開始
「27歳で結婚するまではエステや買い物三昧で貯蓄とは無縁の日々でした。でも結婚退職して収入がなくなり、お金の大切さを痛感し、家計の先取り貯蓄を始めました。貯蓄の習慣がある人とならないとでは、10年後のお給料にも差が出ます」



お金も人間関係も想定外の事態に備えて

アラサーの理想の貯金額は給料の1年分以上。これだけあれば、失業や病気といった不測の事態に陥ったときも安心と高山さん。「毎月お給料が入ったら、手取りの2割を天引きすると5年で年収分が貯まります。安定した暮らしを続けるためには、結婚、出産しても働き続けることも大事。それには周囲のサポートが必須です。今から、親や親戚、友達とよい人間関係を築き、いざというときに子供を預けられる態勢を整えて」

ファイナンシャルプランナー
Money & You 取締役
高山一恵さん
(41歳)

私がアラサーだったころは...

専業主婦から一念発起、「エフビーウーマン」の設立に参画

PROFILE 大学卒業後、大手企業で営業などを経験。27歳で結婚したのを機に退社し、ファイナンシャルプランナーの資格を取得。31歳で「エフビーウーマン」の立ち上げに参画。15年より現職。プライベートでは38歳で出産し、1児の母。共著に「35歳までにはぜったい知っておきたいお金のきほん」(アスペクト)。



自分の強みをつくって長く働ける土台づくりを

30〜35歳という、いちばん仕事に楽しい時期。子供のことは後回しという人も多いけれど、産みたいかどうかだけは決めてほしいと宋さん。「個人差はあるけれど、40歳手前になると妊娠率はグッと下がります。遅くとも36歳で子づくりを始め、1年経ってもできなければ不妊治療を。そうすれば授かる確率も高くなります。仕事は、人と差別化を図って、代えが利かないような人材になっておくこと。そうすれば、産休・育休後も働きやすいと思います」

35歳までにしておきたいこと

15. 子供を産みたいかどうか決める
「仕事との兼ね合いもあるし、出産は早ければ早いほどいいとは限りません。ただ、産みたいなら35歳までにこの人の子が欲しいと決められること」

16. 仕事の専門的な知識や技術を身につける
「ロンドンで習得した出生前診断の技術と知識があったからこそ、好きな働き方でいかに戻ってきたか、と言われ、産休後もすぐに復帰できました」



産婦人科医
宋美玄さん
(39歳)

私がアラサーだったころは...

大病院での勤務を経て、ロンドンに留学

PROFILE 兵庫県生まれ。大阪大学医学部を卒業後、大阪大病院産婦人科に入局。31歳で、川崎医科大学産婦人科講師に就任。33歳でロンドンに留学し出生前診断を学ぶ。帰国後は都内の病院で一般産婦人科診療やセックスカウンセリングを行う。35歳で第1子を出産、現在第2子を妊娠中。



宋さん'sやっておいてよかった!

留学時に習得した技術が武器にロンドン大病院「キングスカレッジ病院」に留学し、出生前診断の最新技術や知識を学ぶ。「日本では研究が進んでいなかったことも、この分野を選んだ理由のひとつ。患者さんが振り回されている状況を改善したいですね」

